

世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ 情報誌

Fresh! Water

Aqua Totto News No.16



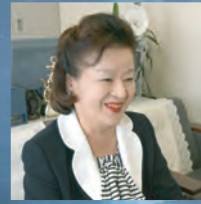
- 1P、2P・・・[企画展 夏だ/自由研究塾] / アクア・トト ぎふ の夏休み [自由研究サポートイベント開催]
3P・・・スタッフ飼育日誌 [コガタブチサンショウウオ日本動物園水族館協会繁殖賞受賞 / 小学校で希少魚講座]
4P・・・キーパーズコラムVol.2 [アクア・トト ぎふは、驚き・不思議でいっぱい/
環境学習プログラム [人気のナイトツアーとお泊まりナイトツアー]
5P・・・企画展レポート
6P・・・INFORMATION

企画展夏だ！自由研究塾

～水族館にはヒントがいっぱい～

開催にあたって

館長 堀由紀子



「夏だ！自由研究塾」は、身近な生き物についての疑問・質問を募集し、その依頼主と、アクア・トト ぎふのスタッフが一緒になって、問題を解決するという企画展です。調査の際スタッフは、何かを調べるきっかけを提供する事に徹し、依頼主の方々が自分自身で、疑問を持ち、調べ、答えを導き出し、学ぶ喜びを感じていただけたらと考えました。「清流の国ぎふ」では、山から海へとつながる清流に、多様な生き物が育まれています。そのさまざまな生き物について、ふと頭に思い浮かんだ疑問、それは立派な自由研究のテーマになるのではないのでしょうか？調査内容の応募には、興味深いテーマを数多く頂くことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。また、実際に、スタッフとともに調査をしてくださいました11名の方々とそのご家族の皆さまにこの場をお借りして改めて御礼申し上げますとともに、少しでもございますが、研究の概要をご紹介します。



田中ももかさん

① カエルの種類は何種類？

山、川、田んぼをとび回り、一日かけてカエルを調査しました。見つけたカエルの写真を撮ったり大きさを測ったりして、図鑑を見ながら種類を調べました。その結果、6種類のカエルを見つけることができました。



山本あみさん

② オニテナガエビの脱皮の殻ってどうするの？

アクア・トト ぎふ では生き物の死がいや脱皮した殻、鳥の羽などを標本としてとっておきます。いろいろな標本を見た後で、標本の作り方を学びました。



石川ほのかさん

③ 親のメダカはたまごを食べる？

たまごの入っている水槽にメダカを入れて数時間後…、たまごの数を数えてみると？あれっ減ってない！実験では親のメダカはたまごを食べませんでした。

④ メコンオオナマズなどの魚は何を食べる？

メコンオオナマズの食性について研究。自然界ではシオグサという藻を食べているらしい。エサの時間には、一匹ずつ見分けてどの魚がエサを何グラム食べたのかを観察することにも挑戦しました。



青木ゆうやさん

⑤ コイのほかに葉っぱを食べる魚はいませんか？

食べそうな魚を予想して、アクア・トト ぎふで実験。いろいろな魚が葉っぱを食べましたが、一番の食べっぷりを見せたのはモツゴでした。



山内こうせいさん

⑥ 田んぼや川でドジョウが泳いでるところを見たい！

近くの田んぼに行き、ドジョウやメダカ、カエル、さらにはカルガモを見つけてどんなふうにくらしているのか観察しました。



山中典子さん

⑦ どうしてカエルは口の下のらへん(辺り)がふくらむの？



荒川はやとさん

食べたエサをのどにためるのかなあ？泳ぐ時、のどに空気をためるのかなあ？カエルにいろいろな行動をさせて観察した結果、カエルが鳴くときにのどがふくらむということが分かりました。



⑧ タガメはどこにいますか？ 田んぼや池を探したけれど見つかりません。



さわ田しょうたさん

どうしても見つからないのが日本最大の水生昆虫タガメ。流れがゆるやかで水深が20cmぐらいのところにならいを定め、一生懸命探しましたが、残念ながらタガメを見つけることはできませんでした。

⑨ お腹にたまごをつけたメダカを見てみたい。



岡庭ともかさん

顕微鏡を使ってたまごを観察。たまごの表面にはウブ毛のようなものが生えていて、この毛のおかげで水草にくっつくことができることや、たまごの中で心臓が動いていることなどを発見しました。



⑩ デンクウナギとデンキナマズ



八木ちなつさん

「デンクウナギとデンキナマズはどちらの方が強い電気を出すの？」、「デンキナマズはなぜ電気を発生させるの？」。本や図鑑で調べた結果、身を守るためや、エサとなる小魚を捕まえるとき、周りを探るときに電気を出すことが分かりました。みんなで手をつないで、魚の出す電気を体感することもできました。



佐藤そういちろうさん



アクア・トト ぎふの夏休み

自由研究サポートイベント

夏休み期間中、自由研究に役立つようなイベントを開催しました。

自由研究アドバイスコーナー

一人一人にぴったりの自由研究が見つかるように、スタッフが相談にのりました。

ホネホネ骨格標本作り 開催日：7月24日、8月23日

魚の体のしくみを学びながら、内臓や筋肉を取りのぞき、本格的な骨格標本作製しました。

スケスケ骨格標本作り 開催日：8月3日、8月17日

魚の体のしくみを学びながら、特殊な薬品を使って魚の骨を染める透明染色標本作製しました。

夜の自由研究 開催日：8月25日

参加者の方々が、夜の水族館で調べてみたいことを飼育スタッフと一緒に調査しました。寝ている魚の観察や、ニシアフリカコガタワニの行動観察などを行い、最後に、お互いの調査内容や分かったことについて発表し、質疑応答をしました。

夏期講習

アルダブラゾウガメの体重測定や、カエルの摂餌行動の観察、魚ではピラニアのあごの力や魚の体のしくみを学びました。

カ × 開催日：7月23日、30日、8月6日、20日、27日

カエル 開催日：7月25日、8月1日、22日、29日

サカナ 開催日：8月3日、10日、24日、31日

フリーペーパー「家族でチャレンジ!!!」

昆虫採集やオタマジャクシの観察など、自由研究のヒントが詰まったフリーペーパーを配布しました。

動物担当
田上



コガタブチサンショウウオ 日本動物園水族館協会繁殖賞受賞

「あきらめたらそこで試合終了ですよ…?」某マンガで有名な言葉です。コガタブチサンショウウオ(以下コガタブチ)の展示から飼育下繁殖にいたる一連の取り組みで、私はこの言葉を心の支えにやってきました。それだけ、何度もつまずき頭を抱えることが多かったのです…。開館当初に展示していた個体は県外で捕獲された個体であったため、なんとか岐阜県に生息している個体を導入するべく、数年間何度も調査にでかけました。しかし、他



種のサンショウウオには出会えても、コガタブチだけはなかなか発見できません。結局、岐阜県立岐阜高等学校の高木先生

から、生息環境や県内の分布についてご指導頂き、ようやく見つけることができ展示にいたりました。

さて、このコガタブチは県レッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。そのため、飼育下繁殖方法の確立を次の目標としました。本種の産卵場所は、河川上流部の地下伏流水中です。そのような特殊な環境を再現することが重要と考え、飼育装

置を製作しました。2010年春、取り組みを開始してから初めて迎える繁殖期。もくろみ通り、繁殖水槽内で産卵が確認されました。しかし、残念ながら胚の発生はみられませんでした。自信をもっていただけに、ショックは大きいものでしたが、あきらめるわけにはいきません。そこで飼育環境を見直し、水温や観察方法を改善した結果、翌2011年に産卵、フ化、そして変態させることに成功しました。これが今回の繁殖賞受賞につながったわけです。もちろん、まだ試合終了ではありません。2012年は卵のう・幼生の展示と赤外線カメラによる産卵行動の観察を目指しました。結果、繁殖個体数は昨年を上回り、特別展示でお披露目することができました。しかし、ビデオ撮影は約2週間連続で行いましたが、肝心の産卵の瞬間は私の思惑通りにいかず、ビデオの死角で行われてしまいました。もちろん、わたしはあきらめていません。来年こそ!



小学校で希少魚講座

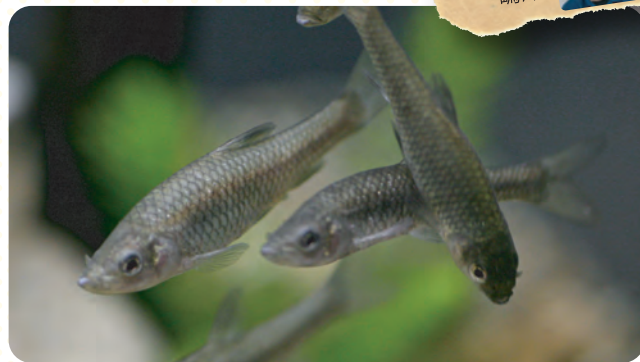
ウシモツゴはかつて濃尾平野に広く分布していましたが、現在では岐阜県、愛知県、三重県の一部のため池のみに生息し、環境省レッドリストで絶滅危惧ⅠA類、岐阜県レッドデータブックでは絶滅危惧Ⅰ類に指定されています。世界中を探してもこの地域にしかない希少淡水魚です。

アクア・トト ぎふではこの絶滅の危機にあるウシモツゴを守るべく平成17年7月に設立された「ウシモツゴを守る会」に参加しています。毎年、4月上旬～6月下旬に「ウシモツゴを守る会」では環境教育・啓蒙活動の一つとして、ウシモツゴの飼育下繁殖に取り組んでいる関市・美濃市内の小学校、中学校への出張講座に出かけます。今回私は関市にある富岡小学校へ行ってきました。

講座では、私が水族館の飼育スタッフとしてウシモツゴの基本的な飼育方法について、岐阜県博物館が外来種問題について、岐阜県河川環境研



魚類担当
嶋津



究所と岐阜・美濃生態系研究会はウシモツゴの生息環境調査や保護活動について説明しました。

質疑応答の時間には「ウシモツゴの寿命は?」「病気の種類は?」など、児童からの質問が尽きることなく、授業時間をややオーバーしてしまいました。それだけ「郷土の魚」であるウシモツゴに対する関心が高いということなのでしょう。

ウシモツゴが「絶滅危惧種」ではなく、「身近な場所で見られるふつうの魚」として、レッドリストや岐阜県の希少野生生物保護条例指定種から外される日が来ることを信じて、これからもこのような活動を続けていきたいと思ひます。

新連載 その2 キーパーズコラム

飼育スタッフが、特に思い入れの深い生き物について紹介します。

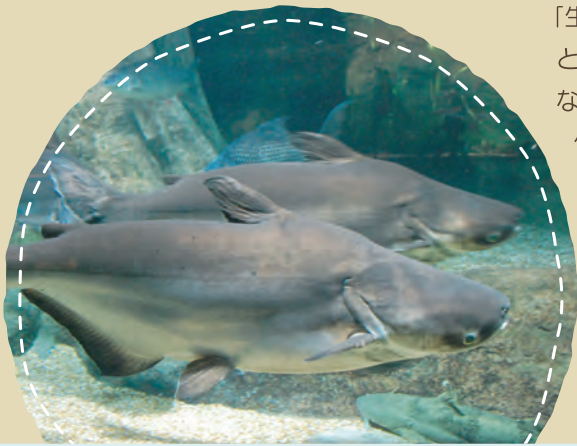


展示飼育チーム 池谷
飼育のBOSS!
水草水槽とイタセンバラの保全に
力を入れています。

アクア・トト ぎふは、 驚き・不思議でいっぱい!

皆さんは水族館の飼育スタッフにどんなイメージをお持ちですか?

お客さまからの問い合わせでは、研究者も返答に困るような難しい質問を受けることも度々あり、魚に関しては何でも知



っているスペシャリストとお考えの方も多いようです(実のところ私自身も水族館に勤める以前は水族館の飼育スタッフと大学の魚類研究者とは同じようなものと考えていました)。水族館は研究所ではなく、私たち飼育スタッフは研究者ではありません。そのため精一杯調べた後に、どうしても質問に答えられず、「わかりかねます」と返答することもあります。なるべく、そのようなことがないように日々勉強しているわけですが、当然のことながら魚を専門に研究している研究者には遠く及びません。

しかし、私たちが水族館業務(「お客さまに生き活きたした魚を見せること」、「生き物を通して自然の魅力を伝えること」)を行うためにさまざまな仕事をこなしていると、時に大学や研究所では気付くことのできない思いがけない「生き物の不思議な生態」に出くわします。例えば、一般的には年魚と考えられている魚類も条件によっては2年、3年生存することや、反対に、ある種の魚類は急激に成長すると寿命よりも早く死んでしまうこと、淡水で

は長期間生きられない海水魚がエサ(栄養)を変えることで生きられるようになることなど、長期にわたって飼育観察しているからこそ発見できることがあります。

これまで私たちが体験した驚き・不思議の中で「メコンオオナマズの絶食を伴う摂餌周期」について、苦手な英語に四

苦八苦しながら4年がかりで論文を作成したところ、何と投稿した日本動物学会より、論文賞を受賞することとなりました。動物学会からは水族館は長期飼育を通じて動物学に大きく貢献できるとのコメントをいただき、私たちの日頃の取り組みや姿勢を評価していただいた気がして大変嬉しく思いました。この受賞を励みに、これからもアクア・トト ぎふの驚き・不思議を多くの方に伝えていけるよう努力していきます。ご期待ください!



【 環境学習プログラム 】 さわってみよう 作ってみよう 観察してみよう 考えてみよう

人気のナイトツアーとお泊まりナイトツアー

学習担当
圓戸



夜の水族館。なんだか、聞くだけでわくわくしますよね。みんなが寝静まった夜、魚たちは何をしているのでしょうか…?

アクア・トト ぎふでは、夏を中心にナイトツアー&お泊まりナイトツアーを実施しています。今年は、7~8月にはナイトツアーを6回、お泊まりナイトツアーを3回実施しました。

午後6時、昼間の観察を終えると、みんなで夕食です。夕食は、水族館レストランのアロワナガーデンでとります。飼育スタッフも加わって、みんなでいろいろな話をしながら楽しく食事をします。普段は聞けない、飼育の裏話が聞けちゃうのも、このツア

ーの魅力です。

お腹がいっぱいになるころには、夜も更けて、水族館の中も暗くなってきます。もちろん、他にはお客さまは誰もいません。レストランから多目的ホールに移動し、ツアーの説明を受けて、いよいよ出発です。照明が消えて暗い水族館。魚たちの様子も、昼間とは雰囲気違います。寝ている魚もいれば、昼間より活発な魚もいます。暗闇で見る魚たちは、ちょっと野性的な迫力がありますよ。途中、3階のとある水槽では特別に夜のエサやりを見ることができます。昼間は隠れている魚たちが、エサをもとめて泳ぎまわるさまは、なかなか見ごたえがあります。

ナイトツアーの場合は、夜の見学を終えて解散なのですが、お泊まりナイトツアーではここからさらにお楽しみがあります。1階のアマゾン水槽前で、ゆらゆら泳ぐアロワナや、巨大なピラルクーを眺めながら一晩を過ごすのです。

参加した方のみが見られる、夜の水族館。今後もツアーは開催されますので、興味がある方はぜひ!参加してみてくださいね。



企画展レポート

特別企画展示 夏だ!自由研究塾 ~水族館にはヒントがいっぱい~

【開催期間】平成24年7月20日[金]~9月24日[月]

「夏だ!自由研究塾」は、夏休みの宿題「自由研究」を応援する企画展です。ふだんから気になっている生き物に関する疑問や質問について、お客さまと当館のスタッフが、水族館やそのまわりで実際に調査・実験し、その様子や結果をパネルや動画で展示しました。この企画は平成21年の春に開催し、好評を得た「探偵!アクア・トトスクープ」の続編でもあります。



特別企画展示 のぞいてごらん夜の森を~夜行性動物展~

【開催期間】平成24年9月28日[金]~12月17日[月]

私たち人間はふつう昼間に活動し、夜間は寝ています。しかし、自然界には昼間に活動する生き物のほかに、夜間に活動する生き物もたくさんいます。昼間に活動する私たちにとっては、夜行性の生き物を目にする機会は少ないかもしれませんが、夜間、少し外に耳を傾げるだけで、夜行性の生き物の活動を感じることができます。夏の夜にはカエルの鳴き声が聞こえてきたり、秋の夜には虫の鳴き声が聞こえてきたり…。

今回の企画展では、夜行性の生き物を紹介するとともに、可能な限りその活動的な姿を紹介しました。



特別展示 モリアオガエルが繁殖しました

【開催期間】平成24年5月13日[日]~7月31日[火]



モリアオガエルの泡巣

バックヤードで飼育しているモリアオガエルが産卵しました。卵を包む白い泡(泡巣)とフ化した幼生(オタマジャクシ)を展示しました。

特別展示 コガタブチサンショウウオとタゴガエルの幼生

【開催期間】平成24年5月25日[金]~7月16日[月]



コガタブチサンショウウオは昨年に続き2回目、タゴガエルは今年初めて繁殖に成功しました。どちらの幼生(オタマジャクシ)も、エサを食べずに卵黄の栄養だけで変態することができるという特殊な生態をしています。

特別展示 金色のアマガエルと青色のアマガエル

【開催期間】平成24年8月1日[水]~10月10日[水]

突然変異により、生まれつき色素細胞に異常があり、体の色がふつうの個体とは異なるニホンアマガエルを展示しました。9月8日からは、体の色が半透明の個体も仲間入りしました。



青色のニホンアマガエル

特別展示 ニホンカナヘビの赤ちゃん産まれたよ!

【開催期間】平成24年8月20日[月]~10月10日[水]

展示槽内に産みつけられた卵を取り出し、バックヤードでフ化させました。卵とフ化したばかりの幼体、そしてフ化の瞬間を撮影した映像を展示しました。



ニホンカナヘビの幼体

マンスリー水槽

テーマにちなんだ生き物を月ごとに紹介しています。

- 4月 「プロ野球開幕!」
- 5月 「のぼるのはコイだけじゃない!?!」
- 6月 「あめあめふれふれ」
- 7月 「トトオリンピック開催!~生物界のアスリート大集合~」
- 8月 「ちょっとぶきみな水ゾクッ館」
- 9月 「輝け!いきものスポーツ大会」



エンツクイ



GWイベント「水族館スタッフとふれあう1日」

平成24年4月28日[土]～5月6日[日]

昨年大好評だった「プレミアムバックヤード」を今年も開催しました。

テーマに変更を加え「希少種・繁殖・保全活動編」と「飼育技術編」のふたつを実施しました。その他、飼育スタッフがイチオシ生物の魅力を紹介する「生き物ワゴン」なども開催しました。



名古屋市医師会総会 館長講演

平成24年6月16日[土]

愛知県医師会館にて開催された名古屋市医師会総会に、堀由紀子館長が招かれ「遊びと学びの水族館～清流がつなぐ生物多様性～」と題して講演いたしました。展示生物の話題を交えながら、フィールドミュージアムとして山・川・海のつながりから成り立つ自然環境と、そこに息づく生物の大切さを伝える当館の展示理念から、楽しく学べる各種体験学習プログラムの開発実施、水槽の裏側で取り組んでいる種の保存や環境保全に関する調査研究活動の紹介など、今、水族館が目指し求められている役割を紹介いたしました。会場には150名を超える医師の先生方が集まれており、広義で同じ自然科学分野に携わられていることもあり、たくさんのご質問や水族館活動への励ましのお言葉を頂きました。



第8回アクア・トトぎふ写生大会表彰式

平成24年7月8日[日]



第8回は、昨年を上回る数のご応募をいただきました。水族館の生き物がいきいきと描かれた作品はどれもすばらしく、入賞作品は夏休み期間中ギャラリーにて展示しました。たくさんのお客さまが足を止めてご覧になられていました。

カリフォルニアアシカのミントが永眠

平成24年7月19日[木]



カリフォルニアアシカのミントが急死しました。これまで温かく見守り応援して下さった皆さま、本当にありがとうございました。

第3回イタセンバラの勉強会

平成24年8月5日[日]

木曽川イタセンバラ保護協会による「第3回イタセンバラの勉強会」が当館で開催され、お子様からお年寄りまで約80名の方が参加されました。この中で、当館学芸員の池谷がイタセンバラの生態についてレクチャーしました。



当館では、これまで環境省ならびに国土交通省と協働して濃尾平野のイタセンバラの保全と啓蒙に取り組んでおります。岐阜県では県民総参加による政策「清流の国づくり（清流を守る・清流を活かす・清流を伝える）」を掲げ、この中に郷土の大切な財産としてイタセンバラの保全が盛り込まれました。ますます保全の輪が広がりが強いものとなりました。

主な出来事

平成24年4月1日～9月30日

※ものづくりWSは土日祝開催

3.3～4.22	ものづくりWS「おさかなせっけんをつくろう」
3.16～7.16	企画展「世界のナマズシリーズ アマゾンの眠いつきナマズ展」
3.24～5.13	第8回アクア・トトぎふ 写生大会
4.1～30	マンスリー水槽「プロ野球開幕」
4.8	アクア・スクール「自然の中で遊び隊」
4.14・21	水族館ナイトツアー
4.22	アクア・スクール「顕微鏡で生き物にズームイン！」
4.28～5.6	GWイベント～水族館スタッフとふれあう1日～
4.28～6.24	ものづくりWS「ボトルアクアリウムを作ろう！」
5.1～31	マンスリー水槽「ほのぼののこいだけじゃない??」
5.3～5	PRキャラバン「2012いのみやリバーサイドフェスティバル」
5.12.26	プレアクア・スクール「春のしぜんあそび」
5.13	アクア・スクール「自然の中で遊び隊」
5.13～7.31	特別展示「モリアオガエルが繁殖しました」
5.19・26	水族館ナイトツアー
5.25～7.16	特別展示「コガタブチサンショウウオとタゴガエルの幼生」
5.27	アクア・スクール「顕微鏡で生き物にズームイン！」
6.1～30	マンスリー水槽「あめあめふれふれ」
6.10	アクア・スクール「カラフルサカツクリ」
6.16	名古屋市医師会総会 館長講演
6.16・30	水族館ナイトツアー
6.23～7.8	七夕イベント「お魚短冊に願いを」
6.24	アクア・スクール「水の性質を調べよう～おもしろ実験教室～」
6.30～8.26	ものづくりWS「おさかなペーパーバウエイトを作ろう」
7.1～31	マンスリー水槽「トリドリピック開催！～生物界のアスリート大集合～」
7.1～31	動物愛護に関する標語募集
7.8	第8回写生大会表彰式
7.8	アクア・スクール「カラフルサカツクリ」
7.14～16	開館8周年記念イベント
7.19	カリフォルニアアシカのミントが永眠
7.14～15・7.21～22	水族館お泊まりナイトツアー
7.20～9.24	企画展「夏だ！自由研究塾～水族館にはセントがいっぱい～」
7.21～9.2	夏の年間パスポート「個人サポーターキャンペーン」
7.22	アクア・スクール「水の性質を調べよう～おもしろ実験教室～」
7.24	自由研究サポートイベント「ホネホネ標本作り」
7.25・28	水族館ナイトツアー
7.28	プレアクア・スクール「夏のもりたんけん」
8.1・7.8・21・22	夏休み特別スクール「飼育係一日体験」
8.1～31	マンスリー水槽「ちよっとぶきみな水ゾク館」
8.1～10.10	特別展示「金色のアマガエルと青色のアマガエル」
8.1・7・20・28	水族館ナイトツアー
8.3～5	PRキャラバン「モゾワンダーシティ」
8.3・17	自由研究サポートイベント「スケスケ標本作り」
8.4～5	水族館お泊まりナイトツアー
8.5	第3回イタセンバラの勉強会
8.11	プレアクア・スクール「夏のもりたんけん」
8.12	アクア・スクール「新境川たんけんたい」
8.20～10.10	特別展示「ニホンカサヘビの赤ちゃん産まれたよ！」
8.23	自由研究サポートイベント「ホネホネ標本作り」
8.25	自由研究サポートイベント「夜の自由研究」
8.26	アクア・スクール「魚を調べよう！～その名はヨシノポリ～」
7.30～8.31	特別展示「黄金ナマズが日本選手団を応援」
9.1	マンスリー水槽「輝け！いきものスポーツ大会」
9.1・22	水族館ナイトツアー
9.1～10.28	ものづくりWS「ふるるん消臭ジェルで水族館をつくろう」
9.9	アクア・スクール「新境川たんけんたい」
9.15～16	水族館お泊まりナイトツアー
9.15～17	敬老の日特別企画 65才以上の方入館無料
9.21～10.1	特別展示「マミズクラゲ」
9.23	アクア・スクール「魚を調べよう！その名はヨシノポリ」
9.26	第6回動物慰霊祭
9.28～12.17	企画展「のそいでごらん夜の森を～夜行性動物展～」



アクセス情報

東海北陸自動車道

「川島PA・ハイウェイオアシス」よりすぐ、「一宮木曾川IC」出口から車で約10分、「岐阜各務原IC」出口から車で約10分。一般道からもお越しいただけます。駐車場無料。

鉄道・バス

JR「岐阜駅」・名鉄「名鉄岐阜駅」より岐阜バス川島松倉行き「川島笠田」停下車徒歩約15分(土日祝は「河川環境楽園」停まで乗り入れる便もあります)。JR「那加駅」・名鉄「新那加駅」から、「かかみがはらふれあいバス」利用、JR「木曾川駅」・名鉄「新木曾川駅」下車タクシー利用、など。

※公共交通機関ご利用の場合は、事前にお時間等ご照会ください。

入館料金(税込)

区分	個人		一般団体	区分	学校団体
	1回券	年間パスポート	20人以上		
大人	1,400円	2,800円	1,120円	大学生	1,000円
中学生・高校生	1,100円	2,200円	900円	高校生	850円
小学生	750円	1,500円	600円	中学生	520円
幼児(3歳以上)	370円	740円	300円	小学生	420円
				保育園・幼稚園児	260円
				園児付添保護者	1,000円

※障がい者手帳(付添者1名を含む)をお持ちの方は、個人1回券がそれぞれ半額となります。
 ※65歳以上で年齢を証明するものをお持ちの方は、個人1回券が1,260円となります。
 ※年間パスポートの有効期間は、発行日から1年間となります。

開館時間

平日 午前9時30分～午後5時まで
 土日祝 午前9時30分～午後6時まで
 ※最終入館、チケット販売及び年間パスポート等会員証の新規・更新のお手続きは、閉館時間の1時間前となります。

休館日

無休 ※ただし、臨時休館させていただく場合がございます。詳しくは水族館までお問い合わせください。

Fresh!Water Aqua Totto News No.16
 世界淡水魚園水族館 アquatotto ぎふ 編集発行
 平成24年10月発行



〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町1453 河川環境楽園内
 TEL 0586-89-8200 FAX 0586-89-8201
 PC http://aquatotto.com [Mobile] http://aquatotto.com/k